

白浜町 議会だより

No.44

平成29年（2017）5月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会



ともに学んだ仲間を忘れない（141年の歴史に幕をおろした市鹿野小学校閉校式）

CONTENTS

■ 平成29年第1回定例会等	P. 2～4
■ 一般質問（平成29年第1回定例会）	P. 5～13
■ 討論のあった議案について	P. 14
■ 予算審査特別委員会	P. 15
■ 町議会・町議会議員の主な動き	P. 16

平成29年第1回定例会

3月1日～22日

平成29年度当初予算を可決

白浜町議会平成29年第1回（3月）定例会は、3月1日招集、22日間の会期で開催しました。

当局から提案された案件は、条例改正等11件、一般会計、特別会計補正予算4件、平成29年度当初予算11件、その他の案件9件、また、議会提出案件は1件でした。

定例会4日目には、議案第6号、第13号について反対討論がありましたが、採決の結果、賛成多数により可決しました。（14ページを参照）

平成29年度当初予算については、予算審査特別委員会で審査を行い、一般会計予算には修正案が提出されましたが、賛成少数により否決されました。（15ページを参照）

定例会5日目には、予算審査特別委員長の審査結果報告を受けた後に全会一致で可決しました。

定例会2日目から3日目には一般質問が行われ、9議員が登壇し、町長及び教育長に質問をしました。

□平成29年度予算

○一般会計予算

予算総額

111億1千700万円

主な事業等の概要は次のとおりです。

（単位 万円未満四捨五入）

【総務費】

- ・コミュニティFM放送局西山送信所

3千850万円

- ・庁舎等整備基金積立金

5千万円

- ・ふるさと白浜応援寄附金事業

1億5千440万円

- ・JR白浜駅バリアフリー化事業

973万円

- ・デジタル防災行政無線整備事業

2千580万円

【民生費】

- ・保育園等給食業務体制強化事業

549万円

- ・子ども医療扶助事業

5千815万円

- ・ひとり親家庭医療扶助事業

2千503万円

【衛生費】

- ・公益財団法人白浜医療福祉財

団補助金

8千695万円

- ・予防接種事業

4千884万円

- ・合併処理浄化槽設置整備補助事業

2千393万円

- ・公共施設整備基金積立金

3千250万円

- ・最終処分場施設修繕事業

1千80万円

- ・紀南環境広域施設組合負担金

3千584万円

【農林水産業費】

- ・有害鳥獣駆除奨励補助金

2千641万円

- ・青年就農給付金

2千25万円

- ・県営ため池等整備事業

2千250万円

- ・南紀白浜水産資源販路拡大事業

2千30万円

- ・網不知漁港施設改良事業

4千400万円

【観光費】

- ・白浜観光推進事業

5千30万円

【土木費】

- ・町道空港湯崎線改良事業

8千800万円

□ 条例改正等

○白浜町個人情報保護条例及び白浜町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、関係規定を改正

○白浜町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について

公平委員会に関する事務処理を和歌山県人事委員会へ委託することに伴い、関係規定を改正

○白浜町職員団体の登録に関する条例を廃止する条例について
公平委員会に関する事務処理を和歌山県人事委員会へ委託することに伴い、条例を廃止

○白浜町各種基金条例の一部を改正する条例について

地域活性化基金を廃止するこ

とに伴い、関係規定を改正

○白浜町税条例及び白浜町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について

地方税法等の一部改正に伴い、関係規定を改正

○白浜町介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について

条例で定める猶予期間の変更に伴い、関係規定を改正

○白浜町共同作業場条例の一部を改正する条例について

しらとり整毛共同作業場の廃止に伴い、関係規定を改正

○白浜町公衆浴場条例の一部を改正する条例について

公衆浴場の入浴料を改定することに伴い、関係規定を改正

○白浜町都市公園条例の一部を改正する条例について

都市公園のより適切な管理運営のため、関係規定を改正

○白浜町安全で快適な海水浴場

の確保に関する条例の制定について

安全で快適な海水浴場のより一層の確保のため、条例を制定

○白浜町古賀浦地区地区計画及び千畳敷三段地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について

当該地区におけるリゾート及び居住区域として緑地を保全し、良好な景観形成とともに土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を目指すため、関係規定を改正

□ 補正予算

○平成28年度白浜町一般会計補正予算(第6号)

既定の歳入歳出予算の総額に1億1千850万円を追加し、歳入歳出予算総額を128億2千796万7千円
主な補正内容は次のとおりです。

【総務費】
・ふるさと白浜応援寄附金事業 4千40万円

【民生費】

・身体障害者更生医療事業 392万円

・直営川添診療施設勘定操出金 345万円

【衛生費】

・マテリアルリサイクル推進施設整備事業 △1千43万円(減額)

【農林水産業費】

・三共揚水機場改修事業 5千122万円

【土木費】

・河床整備基金積立金 2千694万円

○平成28年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)

既定の歳入歳出予算の総額から9千286万9千円減額し、歳入歳出予算総額を37億9千177万9千円

○平成28年度白浜町介護保険特別会計補正予算(第4号)

既定の歳入歳出予算の総額に356万8千円を追加し、歳入歳出予算総額を27億9千952万2千円

○平成28年度白浜町水道事業特別会計補正予算(第2号)

既定の歳入歳出予算の総額に6千720万円を追加し、歳入歳出予算総額を10億7千162万8千円

□西牟婁郡公平委員会規約の廃止に関する協議

平成29年3月31日をもって西牟婁郡公平委員会の共同設置を廃止

□和歌山県と白浜町の公平委員会に関する事務の委託に関する協議

公平委員会に関する事務処理を和歌山県の人事委員会に委託

□公有水面の埋立てに対する意見

【位置】

和歌山県西牟婁郡白浜町堅田字鴻ノ巣2518番2、同町堅田字畑崎2248番1の地先無番地地先公有水面

【面積】

1千223.04平方メートル

【埋立地の用途】

漁港施設用地

【出願人】

和歌山県西牟婁郡白浜町1600番地

白浜町
白浜町長 井潤 誠

□教育長の任命について

次の方を同意しました。

・山中 雅巳(田辺市) (敬称略)

□人権擁護委員の推薦について

次の方を適任としました。

・堅田 千椰子(湯崎) (敬称略)

・植田 泰子(玉伝)

・小山 よし子(日置)

・玉置 悦子(安居)

平成29年第1回臨時会

白浜町議会平成29年第1回(2月)臨時会は、2月14日招集、1日間の会期で開催しました。

当局から提案された案件は、条例改正1件、その他の議案3件、また、議会提出案件は1件で、

それらすべて可決承認しました。

□条例改正

○白浜町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例について

地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、関係規定を改正

□補正予算

○平成28年度白浜町一般会計補正予算(第5号)

既定の歳入歳出予算の総額に2億7千520万円を追加し、歳入歳出予算総額を127億946万7千円

主な補正内容は次のとおりです。
(単位 万円未満四捨五入)

【総務費】

・地方創生拠点整備交付金事業 2億3千500万円

・ふるさと白浜応援寄附金事業 2千425万円

【観光費】

・向平キャンプ村採水井戸改修事業

□公有水面の埋立てに対する意見

【位置】

和歌山県西牟婁郡白浜町堅田字畑崎2338番15及び2338番19に接する町道の地先公有水面、同町堅田字畑崎2289番2及び2271番4の地先公有水面並びに同町堅田字畑崎2270番、2269番及び2269番1に接する町道の地先公有水面

【面積】

1万5千928.36平方メートル

【埋立地の用途】

漁港関連施設用地

【出願人】

和歌山県西牟婁郡白浜町堅田2520番地

堅田漁業協同組合
代表理事組合長 堅田 隆弘

□富田共有財産組合委員会委員の選任について

次の方を同意しました。

(敬称略)

・柏木 幸王(富田)

平成29年第1回定例会一般質問（登壇順）



ほり たくみ
堀 匠 議員
(一問一答)

- ・ 防災について
- ・ 都市公園等の利活用



(町が設置している備蓄倉庫)

問 災害が発生した場合「共助」の代表ともいえる自主防災組織の現状と取り組みはいかがか。

答 自主防災組織数は61団体組織されており、防災訓練の実施や町防災対策補助金を活用して地域防災力向上に向け取り組んでいる。

問 町が設置している備蓄倉庫の現状と避難所に指定されている各学校での備蓄品の取り組み状況はいかがか。

答 町が開設する21カ所の避難所に計画的に非常用食料等を備蓄している。学校に備蓄されているものもあるが、町民全体として備蓄をしている。

問 多くの観光客が来泉され、安心安全をPRしている白浜温泉である。観光防災としての取り組みや観光客を含めた避難訓練の計画はいかがか。

答 町と白浜温泉旅館協同組合共催で、観光客の安心安全の確保のため観光防災講習会を開催した。観光客を対象とした避難訓練実施の予定はない。

問 白浜温泉街活性化構想推進計画にも上げている白良浜周辺のアクティビティを含めた施設整備、ビーチの延長など具体的な計画はいかがか。

答 浜内にもう少し食事ができる場所の確保をし、浜内から湯崎のフィッシュャーマンズワーフ白浜、周辺商店への動線づくりをしたい。

問 平草原公園内の民俗温泉資料館の利活用について町民からアイデア募集するなど必要ではないのか。

答 民俗温泉資料館の今後については、町民の方々のアイデアなども聞かせていただき、より利用しやすい施設の検討をしていきたい。

問 番所山、臨海を起点としたサイクリングロードの整備はできないのか。

答 白浜観光協会が取り組んでいるレンタサイクルとの連動も考え、番所山、臨海に限らず、海岸線、都市公園のコースをサイクリングロードとしてPRしていきたい。

問 和歌山南漁協白浜支所から臨海に向けての歩道も含めた整備が必要ではないのか。

答 県に対して毎年歩道整備の要望を行っている。観光シーズンの歩行者の通行状況を把握したうえで検討していくとの回答を頂いており、早期実現に向けてよりいっそう働きかけを行っていく。



(民俗温泉資料館)



ふるくぼ けんじ 議員
古久保 恵三 議員
(一問一答)

・町有源泉「第三天山」の 動力許可申請について

問 温泉法の観点では、この地域での温泉掘削は認められない。第三天山の井戸は昭和40年に危険排除の目的で超法規的な措置として掘削が認められ、私有地に存在する井戸を事後承諾で町の所有と認定され、現在に至っている。昭和43年に土地所有者と町が「温泉に関する契約」を締結。土地所有者である法人は平成18年に特別清算により消滅しており、契約は終了していると思うが、町の見解は。

答 土地所有者と契約を締結し、その後、当初の所有者から現在の所有者に所有権は移転されているが、同じ関連会社である。また、契約者のいずれかが契約書の不利益を被っているわけではなく、契約書は有効である。

問 相手方から3億5千万円強の請求書が送られているが請求の内容とその根拠

は何か。今後の対応はどうされるのか問う。

答 40年以上、温泉利用の要望を町が履行できずにきた。温泉を使えば、経費がかからなかったといわれているが、現に町として支出はしていない。今後、協議を進めていく。

問 動力装置許可申請において、給湯先がすでに給湯されている「湯崎公園足湯」と「特定の宿泊施設」となっており、公共の福祉に供するという趣旨にはそぐわないと思うが、その目的と根拠を問う。

答 公共の福祉とは、公共機関が提供するものだけでなく、社会全体を考えると、すべての人に共通する利益であれば、民間施設が営業しているものも公共福祉という考えになる。

問 今後、給湯先に温泉を送るための設備は、既設の利用するのか。それとも新設なのか。また、その費用と管理はどうするのか。

答 現行の機械設備を利用する。維持管理に関する費用は、現状の契約では土地所有者となっている。

問 県申請書の申請地番には源泉井戸は存在せず、源泉井戸の存在する地番である白浜町1667番地の19は私有地になっている。将来に向けて、法的な面での問題が想定されると思うが、調査はされたのか。

答 申請地番は、1863番地の1であり、地目も鉱泉地である。ご指摘の地番の所有者も同じであり、特に問題があるとは考えていない。今後、地番の錯誤があるなら、県担当課とも協議をする。

問 「初期の目的を達した井戸で、これ以上の揚湯は周辺に悪影響を及ぼしかねない」と第三天山源泉に関する意見書に記されているが、温泉汲み上げに対して、周辺源泉の環境調査、モニタリングは徹底されたのか。悪影響が出た場合の対処は考えているのか。

答 今回の申請にあたってはモニタリングをしなければならぬものでもなく、また本当にこの温泉を汲み上げてはならないのであれば、県のほうもそれなりの答えを町に出したと思う。



(町有源泉「第三天山」)



つね せい き 議員
成紀 議員
(一問一答)

- ・ J R 日置駅周辺整備について
- ・ 県道白浜久木線について
- ・ 空き家対策について
- ・ 町営住宅施策について



(整備が望まれる J R 日置駅の駐輪場)

問 J R 日置駅周辺の整備について、町は計画的に整備すると以前答弁している。県道も拡幅されるなか、日置駅周辺の駐輪場や駐車場の整備計画はいかがか。

答 駐輪場の整備は、富田駅、今年度においては白浜駅と順次着手している。日置駅の駐輪場についても、早い段階で着手していきたいと考えている。

問 県道白浜久木線の早期改修は合併以前から両町にとつて重要課題であり、生活道路、防災道路、観光道路として役割を担うものであり、今年2月には国への陳情を行ったと聞くが、今後の整備計画と完成の目途について伺う。

答 久木側の通行不能区間4.7kmの内、久木橋から2.7kmの区間が平成26年度に事業化され、現在掘削工事中。その先のトンネル工事も発注済みで、本年夏前ごろから本格的に掘削工事が始まると伺っている。残り2.0kmの区間も全体としての早期完成に向け、庄川側からも事業着手ができるよう今年度で調査検討と予備設計が行われている。完成の目途については、事業化されていない区間もあり未定である。

問 適切な管理が行われていない空き家など地域住民の生活環境に大きな影響を及ぼしている。空き家の実態調査や件数、危険性の高い空き家の対策、また空き家の有効利用、中間法人制度、定住促進活用について当局の見解を伺う。

答 今年度、町内全体の空き家等実態調査を実施した結果、現在、内容を精査中であるが町内には約1千270棟の空き家等があり、その内危険度の高いものが約120棟ある。今後、調査結果をもとに「空き家等対策計画」を策定し、所有者に適切な管理や有効利用を促していきたい。

問 改良住宅の跡地利用について、住宅の払い下げや跡地の売却、また諸事情により町営住宅や地域を離れる住民が多くなっている状況から今後の対策について伺う。

答 築後40年近く経過し老朽化が進むなか、今後、健全な維持管理が難しい住宅は、解体撤去を含めた整理を検討していく。改良住宅の払い下げや解体後の跡地利用等については、今後、区や住民と協議しながら対応していきたい。



(安宅地区の町営住宅)

・ 公共事業の成果について
 ・ ふるさと納税について



みなみ かつや 南 勝弥 議員
 (一問一答)

問 合併特例債を利用した大型工事もおおむね終了した。検証がなおざりで予算を使い切って、それで終わりになっていないか。それ

ぞれの事後評価を適切に報告すべきである。事業について、いくらの費用がかかっているのか、受益者負担の割合が適当かなども検証すべきである。町の方針として、担当課にきちんと事後評価を求めているのか。

答 すべての事業の評価を求めているが、重要な案件については結果がどうだったかというような検証は行わなければならないと考えている。

問 町は評価を町民の方に分かりやすく説明する責務もあるのではないか。

答 すべて事業を精査し、その結果を町民や議会に報告するところまでは行って

いないが、広報や町政報告会などを通じてできる範囲で説明責任を果たしていきたい。

問 町長の町政報告会で第三者機関で事後評価をする

と約束していたが、その後、本当に実行できるのか。

答 どういう方法やタイミングでやるのが一番良いのか、どういう形で成果の検証をするのか、事後評価をするのかということを庁内で考えていきたい。

問 「過熱する返礼品競争。ふるさと納税の本末転倒」という記事もある。現行の制度は本当に持続可能なものなのか。返礼品に対し、

総務大臣も町が利用している寄附の仲介をしている会社も見直しを求めているが町の対処はどうか。

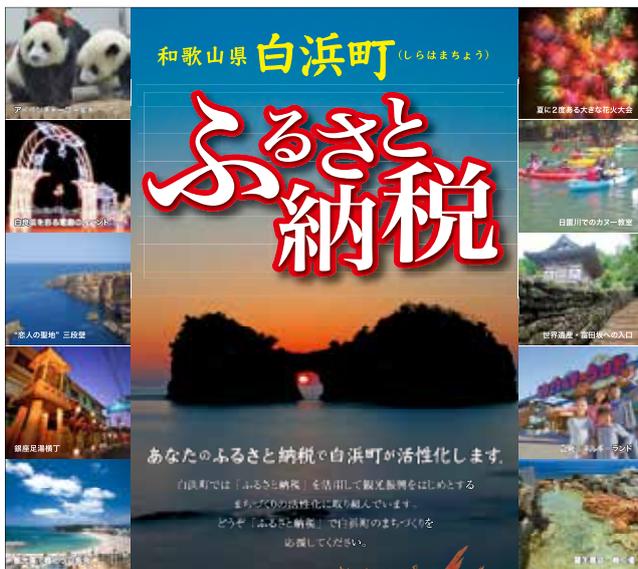
答 現時点において、総務

省からは以前に制度の趣旨に沿った対応を求める通知があったが、具体的な制度の見直しに関する通達等は来していない。全国的にも過熱気味であることは承知しているが、これからも制度の趣旨を十分踏まえ、地域の産品の流通促進につながるよう、寄附金制度のPRに努めてまいりたい。

問 他市町在住の90人余り

の町職員に「返礼品を求めない」ふるさと納税を町は要請、お願いの努力をしているのか。

答 職員に対し、寄附を要請するようなことは行っていないが、職員のご家族や知人を通じて、白浜町へ納税をお願いする旨を以前に文書にて周知した経過はある。



(町のふるさと納税のパンフレット)



ひろはた としお
廣畑 敏雄 議員
(一問一答)

- ・カジノ誘致について
- ・核兵器廃絶宣言の町としての行動
- ・学童保育について

問 世界のカジノ産業は、三、四年前から斜陽産業といわれ、特にアジアのカジノは不振である。このようにななか、町としてのカジノ法の考え方はどうか。

答 統合型リゾート推進法は、今後の実施のための法案や関連法の見直しを検討するための組織を設置することを目的とした法律であると理解している。

問 公営ギャンブルは、法務省が示す8要件をクリアして行っているが、賭博禁止についての町の考え方はどうか。

答 カジノにおける賭博行為は現行では禁止行為であると考えている。今後、議員ご指摘の8要件については、関係法の見直しと併せ、今後検討がされるものと思っている。

問 カジノの弊害であるギャンブル依存症などの問題についてはどう考えているのか。

答 ギャンブル依存症や犯罪組織の介入などさまざまな弊害が考えられる。こうした負の側面をいかに排除し、健全かつ安全性が担保される制度の確立が必要である。

問 ヒロシマ、ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名などの協力についてどう考えるのか。

答 町が加盟している平和首長会議を通じ、加盟している全国の自治体とともに、恒久的な平和また核廃絶への取り組みをしている。

問 学童保育の支援員である放課後児童支援員の雇用についてどう考えているのか。

答 これまでも臨時職員の雇用等について随時、見直しがされている。今後も、労働基準法、最低賃金の改正時や近隣市町の動向を見ながら検討したい。

問 学童で働く人の雇用の安定が、スキルアップにも繋がっていく。専門職として

て対応するべきだと思いませんか。

答 指導員には、支援員、補助員の資格を取得するため、県が行う研修への受講を勧めている。今後も、指導員の資質向上をはかり、保育サービスの向上に繋がっていききたい。



(4月1日に開所した西富田学童保育所「第二」)

・「世界に誇れる観光リゾート白浜」への取り組みについて
 ・合併時の重点課題「日置川大塔線」への取り組みについて



みくら けんじ 議員
 (一問一答)

問 町長は、町のビジョンを「世界に誇れる観光リゾート白浜」と掲げている。当選以来6年目を迎え、進捗状況はどうであるのか。今後はどのようなところを世界に誇れる観光リゾート地として、どのように推し進めていくのか。

答 平成24年の1期目就任以来、「白浜創生」を掲げ取り組んできた。成果のたものでなかったものさまであり、道半ばと認識をしているところである。これからも、少しでも公約に掲げたことが達成できるように、行政運営を進めていきたい。

問 「世界に誇れる観光リゾート白浜」へのこれまでの取り組みについて、私は評価しかねるが、29年度予算のなかで、このビジョンに関わる予算はどの事業なのか。

答 公約の一つである白浜駅のバリアフリー化をはじめ、新たに白良浜を中心とした湯崎周辺海洋を一体的に活用するための予算や引き続きスポーツ合宿や大会、会議、展示会などの誘致に取り組むための予算を計上したところである。限られた財源ではあるが、少しでも公約に掲げることが実現できるように予算配分を行ったところである。

問 世界に誇れる観光リゾート地としての白浜を見たととき「統合型リゾート」であるIRの誘致に手を挙げてはいかがか。IRに関しては、昨年国会で法案が通り、具体的な法整備はされていないところではあるが、どう考えているのか。先の12月議会において、同僚議員がIR誘致にかかる質問をしているが「IRの話があれば、いつでも聞く。」ということではなく、誘致に

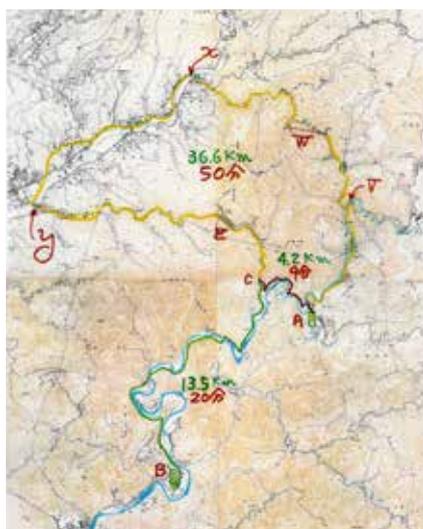
名乗り出てはいかがか。

答 統合型リゾートに関しては、さまざまなケースがあるが、地域振興、経済活性化につながる有効な手段の一つであると考えている。統合型リゾートの誘致に関しては、地元の合意形成が基本であると考えており、そうした点を十分踏まえ、総合的に判断したい。

問 「日置川大塔線」への取り組みについては県事業ではあるが、合併時の重点課題の一つである。合併から十年、当該事業への取り

組みが見られない。県は未着工の理由に地籍調査の未完了地域であることをあげている。平成21年から24年、25年、26年、28年と何度も質問しているが、なぜ、地籍調査をしないのか。同じような答弁を繰り返すがなぜか。

答 計画変更するには、予定している地域をとりやめなければならぬし、県道日置川大塔線改修に係る地籍調査事業の着手箇所については、県とも相談が必要と考えるので、第7次地籍調査事業計画のなかで検討していきたいと考えている。



(早急な改修が望まれる日置川大塔線)



まるもと やすたか
丸本 安高 議員
(一問一答)

・寝たきり患者及び身体障害者等 扶養手当について

問 白浜町寝たきり患者及び身体障害者等扶養手当支給条件がある。支給要件は(患者)被扶養者を扶養している者に対して、被扶養者一人につき、年額4万8千円を支給する制度である。国においても寝たきり患者等に対し、特別障害者手当の制度がある。支給要件は「精神、身体に著しく重度の障害を有するため日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある。在宅20歳以上の者に支給される」とある。支払月額額は2万6千830円。私は2つの制度を知ってから5年近くになる。この間、20人前後の寝たきり高齢者を在宅で介護している家族の方に制度をお知らせした。驚いたのは知っていたのは一人だけだった。周知はできているのか。

答 白浜町寝たきり患者及び身体障害者等扶養手当並

○白浜町寝たきり患者及び身体障害者等扶養手当とは、65歳以上で居宅において常時寝たきりの状態にあり日常生活における活動が極度に制限される者や、重度の身体障害または知的障害を持ち、日常生活において常時介助が必要な方と生計をともにし、扶養している者に対して支給される扶養手当。

〈支給要件〉
被扶養者、扶養者とも白浜町に引き続き1年以上住居を有する者。

〈手当の額〉
被扶養者1人につき年額48,000円。

〈支給期間〉
認定の請求をした日に属する月の翌月から対象とし、手当を支給すべき事由が消滅した日の属する月までを月割り計算する。

びに特別障害者手当の制度の周知については、20人前後の寝たきり高齢者を在宅で介護している家族の方のうち、これらの制度を知っている方が1人ということであれば、これらの制度が住民の方々に十分に周知されているとは言えないのではな

問 2つの制度は、在宅で介護をしている住民を対象にしている。介護の認定を受け、在宅で介護する住民、すべてに手当の制度を知らせるべきではないのか。

答 在宅介護利用者には、介護保険施設に含まれない有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウス等の利用者も含まれ

ているため、居宅介護の人数が多くなっている。そのため、実際に介護認定を受け、在宅で寝たきり高齢者を介護する方を特定するのが難しいため、これらの制度を周知する方法については、今後、十分に検討していきたいと考えている。

問 どのような方法でいつ知らせるのか。

答 これらの制度の今後の周知方法については、なるべく早い時期に、町広報紙、町ホームページでの周知に加え、高齢者への周知に限定されるが、地域ケア会議等でケアマネージャーに周知することで、在宅で寝たきり高齢者のご家族に制度の周知ができるものと考えている。

※このほか、丸本議員は子どもの貧困について質問しました。

- ・ I T 教育について
- ・ 高齢者就労対策について
- ・ 町有地の利活用について



たまき ひとむ 議員
玉置 一 (一問一答)

問 現在の I T 社会において、I T 教育の充実、推進の必要性を感じている。そのなかで、町が誘致した I T 企業が社会貢献の一環として、小中学生に対し I T 講習を実施してくれたと聞く。これを機に小中学校と企業の意思を聞いたうえで、授業の一環として取り入れてはどうか。

答 I T 教育の充実、推進には、さまざまな取り組みがあると思うが、現在の学校カリキュラムは詰まっておろ、新しい時間を捻出するのは困難であると考えている。そのなかで、どのような形で子どもたちに I T 教育等のレベルが上がる学習の取り組みができるか、先進地事例を参考に考えていく必要がある。

問 豊富な知識と経験を持つ高齢者にそれらを生かした仕事に就いていただき、

生きがいを高め、健康増進をはかっていたただくため、町は仕事を優先的につくり出さなければと思うがいかがか。

答 現在、町からシルバー人材センターに依頼している業務は、役場の宿直業務、草刈り、トイレ清掃、町営浴場での業務等がある。

今後、介護保険制度の改正にともなう、日常生活支援総合事業のなかで、シルバー人材センターによる新たなサービスの創設等も検討、協議していく予定としており、それが、新たな雇用の創出に繋がればと考えている。

問 町に進出を予定する企業の要望は「シーサイドビュー」と「温泉」と聞く。企業が要望する場所以外にも適する場所があれば、そこへ企業誘致を考えてはどうか。また、現在町が経営している会社の利益を検討

すべきだと思うがいかがか。

答 町には、全国に誇れる温泉以外にも、風光明媚な観光名所と自然美がある。また、高速道路南伸や空港があることで関西圏や首都

圏からのアクセスも良い。活用できていない町有地で企業が望むような条件に見合う土地があれば、今後、積極的に活用して参りたい。



(白浜町の誇るオーシャンビュー)



みずかみ くみこ 議員
水上 久美子 (一問一答)

・ 公共施設とインフラの整備、老朽化について

・ 働き方改革について ・ 町の活性化について

問 中央公民館では冷暖房にコインタイマーが設置されている。近隣市町では公民館の空調課金はないと聞く。実費負担にする等、受益者負担の適正化について

数年前にも質問したが、協議するとの答弁であったが、その後、どうなったのか。

答 住民の皆様の意見をすべて吸い上げているわけではないが、現在、町の行財政改革に取り組んでいるので、再度前向きに精査し、庁内会議を設置して検討したい。

問 公共施設の老朽化や維持管理の課題と地区の集会所など避難所が心配なく災害時に利用できるのか。

答 集会所の日常の維持管理費に関しては、指定管理者において費用負担をお願いしている。また、老朽化等に対する安全対策につ

ては、指定管理者との負担割合や財政的な課題もあるので、どのように取り組むか今後検討していきたい。

問 保育園、幼稚園の整備、老朽化、耐震など問題はなのか。湯崎保育園では園舎の傾きや雨漏り、水漏れがこれまでもあり、建物の老朽化、侵入路と駐車場問題など施設環境の不備がある。移転を考える時期ではないのか。

答 今後の湯崎保育園のあり方については、耐震改修をするのか、あるいは新たなところに建替えをするのかも含め、現在、検討をしている。

問 通学路の安心安全について検証はできているのか。道幅が狭い、白線が消えている等は町内各所の通学路に当てはまるが、対策はどうか。



(町内随所に見られる通学路の安全対策不備)

答 平成27年3月に「白浜町通学路交通安全プログラム」を作成し、関係者と連携して危険度や重要性等を勘案しながら、優先順位を付けて順次整備を行っていききたい。

問 職員の働き方改革について、正職員と非正規職員の待遇を同じにする、同一労働同一賃金と長時間労働の是正についての考え方を尋ねる。

答 全ての職員が安心して働ける職場を創出することが安定した行政サービスの提供につながるものであることから、先進地での取り組みなどを参考にしながら今後研究していきたい。

問 観光振興、白浜温泉街の活性化には通年型観光や誘客につながる効果的、多様なニーズに応えられる町になっていくのか。検討すべき課題は多いがどう捉えているのか。

答 DMOを取り組むにあたり、今回、人材の確保等の難しさが見えてきた。そういう知識を持った方の確保をいち早くしていきたい。そして、観光情報の発信に更なる取り組みをしたい。
※DMOとは、地域全体の観光マネジメントを一本化する観光地域づくりの舵取り役を担う組織のこと。

討論のあった議案について

議案第6号「白浜町個人情報保護条例及び白浜町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について」、議案第13号「白浜町公衆浴場条例の一部を改正する条例について」の2議案について質疑の後、討論を行い、採決の結果、いずれも賛成多数により可決しました。

審議においての討論、採決の結果は次のとおりです。

議案第13号
反対討論要約（廣畑議員）
 入浴料金の値上げ、条例の改定については反対する。やはり、町民の皆さんに安価で、そして気持ちよく入っていただくということから、この料金の値上げについては反対する。

議案第6号
反対討論要約（廣畑議員）
 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律いわゆるマイナンバー法に基づく改正条例について反対する。国が責任をもつということであるが、個人の情報が管理され、悪用されるという危惧がやはりある。町の個人情報、税であるとかは今までのシステムでやってきたし、これからもやっていける。セキユリティをきちんとしていけば、マイナンバー法に基づいた条例の改正については必要ないと思う。

○：賛成 ×：反対	議決結果	辻	西尾	古久保	溝口	丸本	水上	廣畑	三倉	長野	岡谷	南	玉置	楠本	堀
		成紀	智朗	恵三	耕太郎	安高	久美子	敏雄	健嗣	莊一	裕計	勝弥	一	隆典	匠
議案第6号 白浜町個人情報保護条例及び白浜町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号 白浜町公衆浴場条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※議長（溝口 耕太郎）は採決に加わりません。

予算審査特別委員会で修正案を否決

平成29年予算審査特別委員会では議案第21号平成29年度当初予算（一般会計）に対し、南委員、三倉委員から、農林水産業費の水産業費、水産業振興費の委託料のうち、警備委託料400万円と浮棧橋維持管理業務委託料384万円を減額する修正案が提出されました。修正案の提出者の南委員から提案理由の説明を受け、長野委員が原案に対する賛成討論を行い、古久保委員が修正案に対する賛成討論を行いました。採決の結果、修正案は賛成少数により否決されました。また、原案については、賛成多数により、原案のとおり「可決すべきもの」と決定しました。提案説明、採決の結果は次のページのとおりです。

★提案説明要旨★

南委員

駐車場売り上げは25年度は年度途中からだが149万円、警備費が535万円。機械のリース料、点検料は別に200万円ぐらい。26年度は売り上げが272万円、警備費が517万円。リース料、保守点検料が合わせて318万円ほど。27年度は売り上げが339万円、警備費が500万円、同じく開閉機リース、保守点検が318万円ほど。今年も警備費400万円の予算が出ている。完成時から警備員について何人も議員から質問があった。当分の間、駐車場収支トントンを目指したいとの答弁があったが、2千万円以上の収益を上げて、起債の償還の原資に当てるということでなかったのか。警備費400万円の縮減を求める。浮き棧橋清掃委託料384万円減額の件だが、以前の一般質問でもあったように2基で約1億円、それが漁業関係者がほぼ独占的に無料で使用して掃除も自分たちでやって、掃除代金を自分たちが受けて取っている。掃除をする必要がないとは言っていない。使用料が無料であれば、無料で掃除をしていただく。そういうお願いをしてもいいのではないかと。町と指定管理者との協定書によると基本方針として指定管理者は運営コストを常に意識し、経費の縮減に努めるとある。町はこのように相手方に求めているのに、町自身はなぜ、経費の縮減に努力しないのか。毎年のことだが、予算説明で最小の経費で最大の効果をと言っている。29年度警備費400万円と浮き棧橋清掃代384万円の2点は最大の経費で最小の効果だと言われても仕方ない。減額すべきである。

原案に対する賛成討論要約

(長野委員)

湯崎浜広場駐車場整理業務については、当初に比べ、費用や内容について改善がはかられている。減額するのであれば、繁忙期の駐車場の整理は誰がするのか。以前の状態で戻ると費用も町職員への負担も増大するし、現場の混乱は免れない、住民サービスの低下になる。

浮棧橋維持管理業務委託料の減額については、平成28年度の予算委員会での議論を踏まえ、28年度の支出は大きく抑えられたと聞いている。一定の予算を確保しておくことは必要ではないのか。この業務は自然環境や気象状況などで左右され、業務量も不安定である。28年度と同じ額の予算措置をしており、状況を見極めながら、執行しないということも視野に入れた適切な取扱いをすればいいのではないかと思う。

修正案に対する賛成討論要約 (古久保委員)

警備に関しては、指定管理者であるフィッシュヤーマンにしていたら、決算においても、27年度は2千100万円ほどの黒字が出ていた。そして、初期投資の2千230万円も入っている。経営が黒字になれば、自分たちのお客さんのために警備は自腹でやる。行政に頼らない。

浮棧橋の件は去年度384万円のうちのだいたい半分が入札をされ、請負もされている。この結果、きれいになっっているのかの報告はいただけない。今後、これは、毎年、予算化しなければならぬ案件ではない。どうしても浮棧橋の底を掃除しなければならぬのなら、予算には賛成するが、切羽詰って掃除をしなければいけないのか、しなくてもよいのかという報告も聞いていないので、認められない。

議決結果	○：賛成 ×：反対												
	堀 匠	楠本 隆典	玉置 一	南 勝弥	岡谷 裕計	長野 莊一	三倉 健嗣	廣畑 敏雄	水上久美子	丸本 安高	古久保恵三	西尾 智朗	辻 成紀
修正案	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	×
原案	○	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○

※委員長(楠本 隆典)は採決に加わりません。議長(溝口 耕太郎)は委員ではありません。

町議会・町議会議長の主な動き (1月1日～3月31日)

27日	23日	22日	21日	20日	17日	16日	15日	14日	13日	10日	9日	6日	2日	2月1日	25日	23日	19日	18日	17日	1月12日															
大辺路衛生施設組合議会	富田川衛生施設組合議会	政視察 (那智勝浦町)	富田川治水組合議会	議会議長会	紀南環境広域施設組合議会	総務文教厚生常任委員会	公立紀南病院組合議会	富田川治水組合議会	議会議長会	紀南地方老人福祉施設組合議会	紀南地方児童福祉施設組合議会	後期高齢者医療広域連合議会	第1回臨時会	全員協議会	田辺周辺広域市町村圏組合議会	長、局長研修会 (和歌山市)	県町村議会議長会議長、副議長	議会議長会	都市計画審議会	議会運営委員会	全員協議会	田辺市周辺広域市町村圏組合議会	合議会行政視察 (高知県)	全員協議会	県町村議会議長会総会	都市計画審議会	議会運営委員会	全員協議会	田辺市周辺広域市町村圏組合議会	合議会行政視察 (兵庫県)	富田川治水組合議会行政視察	総務文教厚生常任委員会	議会議長会、議員研修会	田辺市及び周辺町議会正副議長会総会	議会広報特別委員会

議会開催予定のお知らせ

次回の6月定例会は

**6月6日 (火) から
6月21日 (水)**

まで開催予定です。

詳しい日程などについては、議会事務局までお問い合わせ下さい。

(TEL 43-6591)

29日	18日	16日	15日	14日	10日	9日	8日	7日	3日	3月1日				
公立紀南病院組合議会定例会	第1回定例会 (第5日)	予算審査特別委員会	予算審査特別委員会	第1回定例会 (第4日)	全員協議会	第1回定例会 (第3日)	議会運営委員会	第1回定例会 (第2日)	委員会	公立紀南病院組合議会予算委員会	都市計画審議会	予算審査特別委員会	全員協議会	第1回定例会 (第1日)

編集後記

青葉の薫る、一年のなかで最も生命力のある季節となり、白良浜や番所山をはじめ周辺には多くの観光客の姿が目立つようになってきました。

新年度が始り一月余りですが、議会としましては、当初の基本方針に沿った行政運営ができています。十分精査し、チェック機能を果たすべく、また、町民の皆様の声を行政に反映できるよう議会活動を積極的におこなっていく所存です。

今後の議会のあり方についても、皆様方のご意見等ございましたらお寄せいただければ幸いです。

議会広報特別委員会

委員長	玉置 一
副委員長	堀 匠
委員	西尾 智朗
委員	丸本 安高
委員	廣畑 敏雄
委員	南 勝弥